

大月市

Otsuki City

平成24年8月31日発行 第127号

市議会だより

市の花／山ゆり

かがり火市民まつり／8月4日



大月阿波踊り大会オープニングテープカット（国道20号）



阿波踊り（国道20号）



まつり広場（東小学校校庭）



平成24年第3回市議会臨時会

第3回市議会臨時会は、7月27日に招集され会期1日で行われました。古見金弥議長の辞職願が提出され、後任に、後藤慶家議員が第54代議長に就任いたしました。

また、契約締結案1件が市長から提出され、全会一致で原案のとおり可決されました。

山梨県市議会議長会（前期）議員合同研修会に全議員の派遣を決定いたしました。

また、補欠選挙3件が実施され、併せて全議員で構成する議員政治倫理条例制定に係わる調査特別委員会が設置されました。

議長就任挨拶



この度、議員の皆様方のご推挙によりまして、大月市議会議長の要職に就任させていただくことになりましたことは、誠に身に余る光栄であり、心から感謝と感激をいたしている次第であります。

私は、浅学非才であり十分な能力もなく、皆様の期待に応えていけるかどうか不安でございますが、ここに皆様のご推挙を受けましたうえは、身を挺してご厚情に報いるよう覚悟を新たにしているところでございます。

言論の府として市議会が円満に運営されますよう不偏不党・公正無私を旨とし、誠心誠意努力してまいる所存であります。

また、多様化する住民のニーズにこたえるよう執行機関と議会が一体となって、本市の発展と住民福祉の向上をめざし、職責を全ういたしますので、どうか、議員各位、執行部の皆様の、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

第54代議長
後藤 慶家

主な議案の内容

契約締結

◎議案第48号

契約締結の件（大月市立大月東中学校校舎新增改築工事）

大月市立大月東中学校校舎新增改築工事の請負契約を締結しようとするもので、地方自治法第96条第1項第5号並びに議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるもの。

○工事名：大月市立大月東中学校校舎新增改築工事

○工事場所：大月市大月二丁目15番11号

○契約金額：874、650、000円（消費税込み）

○工事概要

・構造：鉄筋コンクリート造3階建て

・建築面積：1、901・01㎡（延床面積：5、134・99㎡）

○契約の相手方：清水建設株式会社関東支店

○契約の方法：一般競争入札

選挙

◎東部地域広域水道企業団議会議員補欠選挙
古見 金 弥

◎山梨県東部広域連合議会議員補欠選挙
古見 金 弥

◎山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙
古見 金 弥

その他

◎議員の派遣

平成24年度山梨県市議会議長会（前期）議員合同研修会

○派遣の目的

研修「厳しさを増す地方財政の今後」―社会保障改革の行方とこれからの地方財政―

○講師

関西学院大学大学院教授 小西 砂千夫 氏

○派遣場所

アピオ 甲府

○派遣期間
平成24年8月10日

○派遣議員
議員 全員

札



藤小鈴山卯山小西小古後奥相大天
本林木田月田原室泉見藤脇馬石野
信章政政善丈 二三金慶一保源祐
実保司文人一司衛雄弥家夫政廣治

委員

市民全体の奉仕者として議員活動を行う際に遵守すべき政治倫理基準について調査するため特別委員会を設置いたしました。

◎議員政治倫理条例制定に係わる調査特別委員会

特別委員会

平成 24 年 7 月臨時會議決結果等一覽表

[illegible]

大月市議会各委員等一覧表

◎議長・委員長・会長 ○副議長・副委員長・副会長 ※監査委員 () 内は定数

議 長		後藤 慶家		副 議 長		卯月 政人	
常任委員会	総務産業 (8)	◎小泉二三雄 小原 丈司	○西室 衛 古見 金弥	小林 信保 相馬 保政		鈴木 章司 大石 源廣	
	社会文教 (7)	◎山田 善一 卯月 政人	○天野 祐治 後藤 慶家	藤本 実 奥脇 一夫		山田 政文	
議会選出監査委員 (1)		※相馬 保政					
議会運営委員会委員 (6)		◎奥脇 一夫 大石 源廣	○古見 金弥 天野 祐治	小原 丈司		小泉二三雄	
議員政治倫理条例制定に係わる調査特別委員会 (15)		藤本 実 卯月 政人 小泉二三雄 相馬 保政	小林 信保 山田 善一 古見 金弥 大石 源廣	鈴木 章司 小原 丈司 後藤 慶家 天野 祐治		山田 政文 西室 衛 奥脇 一夫	
大月都留広域事務組合 議会議員 (5)		○小泉二三雄 天野 祐治	小原 丈司	※奥脇 一夫		大石 源廣	
東部地域広域水道企業団 議会議員 (5) 監査委員 (1)		◎天野 祐治 大石 源廣 ※西室 衛	小原 丈司	古見 金弥		相馬 保政	
山梨県東部広域連合 議会議員 (5)		◎奥脇 一夫 古見 金弥	山田 善一	西室 衛		※小泉二三雄	
山梨県後期高齢者医療 広域連合議会議員 (1)		古見 金弥					
国民健康保険運営 協議会委員 (5)		◎山田 善一 鈴木 章司	○山田 政文	藤本 実		小林 信保	
短大運営委員会委員 (2)		鈴木 章司	卯月 政人				
中央病院運営委員会委員 (4)		山田 善一	西室 衛	小泉二三雄		相馬 保政	
市議会だより 編集委員会委員 (6)		◎西室 衛 山田 政文	○山田 善一 奥脇 一夫	藤本 実		小林 信保	

平成24年第2回市議会定例会



平成24年第2回市議会定例会は、6月4日から19日までの16日間の会期で開かれました。
開会日には、報告1件、条例案5件、補正予算案1件、その他の案2件が市長から提出されました。
14日には、一般質問が行われ、代表質問として5会派から、個人質問として3名の議員から市政全般にわたり質問がされました。
また、提出された議案については、それぞれ所管の常任委員会に付託し、15日、18日に審査いたしました。
最終日には、人事案2件が追加提出され、今定例会に提出された議案については、慎重審議のうえ「議案第39号 福祉サービス見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定の件」については賛成多数で、これ以外の議案については、原案のとおり全会一致でいずれも承認及び可決並びに認定いたしました。

主な議案の内容

報告

◎報告第1号

専決処分事項について承認を求める件

地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により議会に報告し、承認を求めるもの。

◆専決第1号

大月市税条例の一部を改

正する条例

地方税法の一部改正に伴い、所要の改正をしたもの。

・新築家屋に係る固定資産税の2分の1軽減措置の2年延長、土地の負担水準の均等化を促進するための負担調整措置の3年延長、小規模住宅用地における税額措置の継続等、固定資産税に係る優遇措置の実施期間を延長するもの。

◆専決第2号

大月市国民健康保険税条

例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、所要の改正をしたもの。

・東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を行うもの。

◆専決第3号

平成23年度 大月市一般会計補正予算（第6号）

歳出の確定（見込）に伴う国県支出金や市債及び各種交付金等の歳入確定等により、平成23年度末補正を

行ったもの。

◆専決第4号

平成23年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

歳出の確定（見込）に伴う繰入金及び国民健康保険税の歳入見込等により、平成23年度末補正を行ったもの。

条例

◎議案第38号

外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件

外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、関係条例の整理に関する条例を定めるもの。

◎議案第39号

福祉サービス見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定の件

本市における福祉サービスを見直し、世代間の助け合いと給付水準の適正化に

よる適正なサービスの提供を実現することを目的として、関係条例の整備に関する条例を定めるもの。

◎議案第40号

大月駅前広場道路附属施設の設置及び管理に関する条例制定の件

大月駅前広場の道路附属施設の設置及び管理を行うため、道路法及び地方自治法の規定により、条例を定めるもの。

◎議案第41号

大月市印鑑条例中改正の件

外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律が施行されること並びに登録印鑑の欠損の状態を具体的に示す必要があることから、所要の改正を行うもの。

◎議案第42号

大月市下水道条例中改正の件

外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律が施行されること並びに財団法人山梨県下水道公社の名称変更に伴い、

所要の改正を行うもの。

予算(補正)

◎議案第43号

平成24年度 大月市一般会計補正予算(第1号)

無線システム普及支援事業費等補助金、土地開発公社補助金及び障害者補助事業の追加により、補正を行うもの。

その他

◎議案第44号

市道の路線認定の件
道路法第8条第1項の規定により、市道の路線認定を行うもの。

・市道丸田3号線

L 225・0m

W 6・0m 15・0m

◎議案第45号

市道の路線変更認定の件
道路法第10条第2項の規定により、市道の路線変更認定を行うもの。

・市道新岩名線

L 528・8m

L 559・3m
W 5・0m 10・3m

W 5・6m 23・4m

・市道上原線

L 1429・6m

L 964・1m

人事

◎議案第46号

人権擁護委員の推薦について意見を求める件

人権擁護委員 山咲典良

氏は、平成24年9月30日をもってその任期が満了する

ので、改めて同氏を推薦しようとするもの。

・大月市梁川町塩瀬629番地

山 咲 典 良

昭和21年8月24日生

人権擁護委員の推薦について意見を求める件

人権擁護委員 大澤勇造

氏は、平成24年9月30日をもってその任期が満了する

ので、新たに澤田正光氏を推薦しようとするもの。

・大月市駒橋一丁目3番36号

澤 田 正 光

昭和26年4月12日生

奥山外四恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙

・大月市賑岡町奥山185番地

山 口 十九男

昭和19年4月7日生

・大月市賑岡町奥山225番地

増 井 寛 二

昭和20年9月1日生

・大月市賑岡町奥山186番地

山 口 和 義

昭和21年8月21日生

・大月市賑岡町奥山112番地

久 根 口 哲 也

昭和16年12月2日生

・大月市賑岡町奥山762番地

矢 貝 新 吉

昭和21年5月6日生

・大月市賑岡町奥山136番地

長 田 光 夫

昭和18年11月15日生

・大月市賑岡町浅利146番地

飯 島 貞 夫

昭和16年9月12日生

・大月市賑岡町浅利133番地

加 藤 進

昭和17年9月6日生

・大月市賑岡町浅利839番地

長 田 光 夫

川 野 清

昭和25年12月2日生

・大月市賑岡町朝日小沢141番地

中 村 大 吉

昭和20年11月2日生

・大月市賑岡町朝日小沢933番地

杉 本 武 則

昭和23年10月7日生

・大月市賑岡町朝日小沢141番地

中 村 大 吉

昭和20年11月2日生

・大月市賑岡町朝日小沢933番地

杉 本 武 則

昭和23年10月7日生

・大月市賑岡町朝日小沢141番地

中 村 大 吉

昭和20年11月2日生

・大月市賑岡町朝日小沢933番地

杉 本 武 則

昭和23年10月7日生

・大月市賑岡町朝日小沢141番地

中 村 大 吉

昭和20年11月2日生

表彰・感謝状
おめでとうございます

全国市議会議長会・山梨県市議会議長会各会長より、議員勤続表彰を次の方が受けられました。

◎議員勤続20年表彰



市議会議員
大石源廣氏

全国市議会議長会の会長より、感謝状を次の方々を受けられました。

◎全国市議会議長会評議員



市議会議員
天野祐治氏



市議会議員
古見金弥氏

平成 24 年 6 月定例会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対●)
※古見金弥議長を除く

種別	議案 番号	議 員 名 案 件 名	天 野 祐 治	大 石 源 廣	相 馬 保 政	奥 脇 一 夫	後 藤 慶 家	小 泉 三 雄	西 室 衛	小 原 丈 司	山 田 善 一	卯 月 政 人	山 田 政 文	鈴 木 章 司	小 林 信 保	藤 本 実	結 果
報告	専決 第 1 号	大月市税条例の一部を改正する条例															承認
	専決 第 2 号	大月市国民健康保険税条例の一部を改正する条例															
	専決 第 3 号	平成 23 年度 大月市一般会計補正予算 (第 6 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決 第 4 号	平成 23 年度 大月市国民健康保険特別会計 補正予算 (第 3 号)															
条例	第 38 号	外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の 一部を改正する法律の施行に伴う関係条例 の整理に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	第 39 号	福祉サービス見直しに伴う関係条例の整備 に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	第 40 号	大月駅前広場道路附属施設の設置及び管理 に関する条例制定の件															
	第 41 号	大月市印鑑条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 42 号	大月市下水道条例中改正の件															
補正 予算	第 43 号	平成 24 年度 大月市一般会計補正予算 (第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	第 44 号	市道の路線認定の件															認定
	第 45 号	市道の路線変更認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人事	第 46 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件															原案可決
	第 47 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
選挙	第 1 号	奥山外四恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選挙
	第 2 号	深桂恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙															



6月 4日 開 会
6月 14日 一般質問
6月 15日 総務産業常任委員会
6月 18日 社会文教常任委員会
6月 19日 閉 会

6 月 定 例 会 一 般 質 問

一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。
今定例会では、8名の議員が質問を行いました。
本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。
詳しい内容については、会議録（8月下旬発行予定）を図書館及び市のホームページ（<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>）で閲覧することができます。

大月市の財政は どうなるのか？



NEW・OTSUKI

山田 善一

代表質問

公社について

問 公社解散時の一般会計の返済方法

答 15年での返済計画なら、年間1億5、300万円の返済になる。

答 市長

おおむね23億円の元金を10年間で返済するということになりますと、年に2億3千万余り、10年間では返済額が多く、返済期間の延長を国、県に要望をしていきたい。



ゆりヶ丘の分譲地

その他の質問

問 公社設立以来、公社に支払った利息の総額は

問 保有土地の買った時の目的は

問 簿価と時価の差額は

一般会計の

借入金について

問 東中、中央病院の建設にあたり、

借入金返済方法

問 今後予想される建築物等の

借入金予想額

再質問

問 実質公債費比率が18%を超えるのは

答 平成27年度に18・5%超え

答 総務部長

18%を超えると起債許可団体となります。公債比率のピークは、平成30年度で20%を超えると思っております。

※実質公債費比率の今後の見込み

27年度に18・5%を超え

30年度に20%（ピーク）を迎え

38年度には、再び18%を割る見込み

その他の質問

問 市道について

問 生活保護について

問 職場への復帰率は

問 拡張方法について

代表質問

清風会
後藤 慶家第4次大月市行政
改革大綱について

問 第4次大月市行政改革大綱における答申内容をもとに、市当局はどのように行政運営に対応していくお考えか。また、職員への周知伝達はどのような方法を取るお考えか。

答 市長 市といたしましては、この答申を最大限に尊重する中で、職員で組織する行政改革推進本部で再度調整を行った上で、実効性のある行政改革大綱及び実施計画として行政改革を推進してまいりたいと考えております。また、今回の実施計画であります、事業内容の進め方、目標年度、指標などを具体的に掲げておりますので、その進捗状況を定

期的に検証することにより行政改革が推進できるものと考えております。

次に、職員への周知及び伝達方法についてであります。行政改革は全庁的な取り組みが必要となりますので、素案や実施計画案の作成段階から多くの職員が携わっておりますが、行政改革推進委員会からの答申内容や決定をした行政改革大綱、実施計画を改めて部長等を通じて全職員に周知するとともに市民の皆様へも公表することとしております。

大月短期大学について

問 学生定員は、少子化に伴い、今後1学年200名、220名の確保が難しくなることが予測されますが、定員確保に向け、対策等のお考えは。

答 市長 定員確保に向けた対策につきましては、まず高校訪問を精力的に実施しており、平成23年度には175校を

訪問したところであります。24年度におきましては、昨年の東日本大震災で実現ができなかった福島県も含め、現時点で180校以上を訪問する計画となっております。高校訪問は、本学の知名度をアップさせるために大変有効な方法でありますので、訪問エリアを拡大し、新たな開拓を行っていきたいと考えております。

問 募集活動に於いて、オープンキャンパスが8月初旬から始まると思いますが、目新しくアピールするパンフレット等作成の計画がありましたらお答えを、また、どの地域を重点に広報活動のパンフレット、チラシ等々配布を行いますか。

答 市長 オープンキャンパスにつきましては、毎年8月に開催し、本学の紹介や進路指導、入試対策等の説明のほか、教員との直接面談などを実施し、本学のPRに努めております。さらに、本学の特色をより高めるために、就職や編入学、資格取

得等を視野に入れたコース選択制や幅広い分野を持つ4年制大学との連携なども検討していきたいと考えております。

入学試験につきましても、本学のほかに富山会場で実施しており、山梨県、長野県に次いで北陸地方の入学者が多い結果となっておりますので、今後も多様な入試制度の実施に向けて検討していく予定であります。

次に、学生募集のパンフレット等の作成につきましては、カラー刷りの大学案内を毎年4、500部作成し、授業やゼミナール、学生生活、入試等の紹介のほか、本学の特色でもある学費の安さや就職、編入学の実績等について掲載をしております。

どの地域を重点に広報活動等を行っているかにつきましては、ここ数年来、学生の6割以上が県外出身者であり、県内及び近県からの入学生が多いため、山梨県内はもちろんのことでありますが、長野県、新潟県、富山県、静岡県、群馬県、福島県、東京都の高校に重点を置いて、大学の教員が直接出向き、説明を行っております。

問

次回の認証評価は、平成27年度とお聞きしたのですが、認証評価までの準備、対策はどのようなに行いますか。また、認証評価とは、環境整備、校舎改築（新築）の他、どのような項目があり、その指針はどのような内容か。

答 市長

次回の認証評価までの準備、対策につきましては、同法同条第1項によりまして、大学の教育研究等の状況についてみずから点検及び評価を行うことも義務づけられております。このため、前回の認証評価から3年が経過しました平成23年度に、本学の教職員により認証評価と同じ項目で自己点検及び評価報告書を作成し、大月短期大学運営委員会委員の皆さんに外部評価委員となつていただき、意見や評価をお願いしたところであります。これらの自己点検及び評価を外部評価委員に評価していただくことが次回の認証評価までの準備及び対策となりますので、平成26年度に再度自己点検及び評価を行い、27年度の認証評価に備えたいと



大月短期大学

考えております。

認証評価の評価項目と指針の内容についてでありませんが、短期大学評価基準は、教育研究活動等の総合的な状況を評価するために11の基準で構成されております。11の基準でありませんが、短期大学の目的、教育研究組織、教員及び教育支援者、学生の受け入れ、教育内容及び方法、教育の成果、学生支援等、施設設備、教育の質の向上及び改善のためのシステム、財務、管理運営の項目となっております、これら11項目のそれぞれの分析については、観点の確認、観点ごとの分析、判断及び基準の評価、すなわち基準を満たしているかどうかの判断並びにすぐれた点、改善を要する点及びさらなる

向上が期待される点を指針として評価することとなっております。

問 大月短期大学の教育施設整備事業として、改修計画されている事業の現状を示せ。

改修計画されている事業の現状ですが、大月短期大学は事務局棟、講義棟、図書館棟の3つの建物を併設しており、講義棟以外は昭和56年以前の建物であるため、現在の耐震基準をクリアしていません。

答 市長

文部科学省では、構造耐震指標であるI_s値が0・3から0・7未満の建物に

ついては平成27年度までに耐震化を図るよう通知しており、また20年度の認証評価では大学施設のバリアフリー化を指導されました。このため、まず講義棟のバリアフリー化事業に着手し、事務局棟及び図書館棟については26年度までに耐震化計画等を策定し、その後耐震化事業を実施したいと考えております。

答 市長

希望している民間業者に対し、調和のとれた市街地形成となるよう協議、指導を進めてまいりたいとの答弁がされていますが、民間主導とは別に市主導による、国、県の施設の誘致等による開発もあるのかと考えますが、如何でしょうか。

大月駅北側の土地利用につきましては、以前より民有地並びに大月市土地開発公社所有地等を活用し、一体的な調和のとれた市街地整備を図ることが大月中心市街地活性化のため非常に重要であると考えております。

今後におきましても、民間開発計画の事業進捗を注視した中で、調和のとれた市街地形成となるよう協議、指導を行ってまいりたいと考えております。

問

財政運営の健全化のためにも市有財産の有効活用を図るため未利用財産の売却、貸付を促進すべきと考えますが、どの様にお考えか。

答 市長

昨年度、山梨県緊急雇用創出事業を活用し、効率よく財産管理を行うため、課税台帳をもとにした公有財産台帳の整理をしたところでありました。その中で、大月市普通財産売却処分事務処理要綱に規定する未利用不動産として処分検討地の調査も行っております。

今後活用の見込みがなく、土地の有効活用や税外収入確保に資するため、処分を検討することが適当と判断される土地として6カ所を、また土地の形状や面積から活用が困難または非効率なため、隣接者などへの処分を検討することが適当と判断される土地としては14カ所を抽出したところであります。これらの土地につきましては、庁内において利活用の有無を再確認し、利活用策がなければ、広報やホームページで周知をし、不動産鑑定価格をもとに一般競争入札による処分などを随時進めていく予定であります。

市所有および民間所有の空地利用について

問 市長は大月駅北側の開発については、開発を

代表質問

山と川の街大月
小原 文司

水道料金見直しについて

問 19・8%の値上げの答申を受け、水道企業団の企業長であります石井市長の見解は。

答 市長

飲料水は、住民の生活を支える上で大変重要であり、安全でかつ安定的な供給を図る必要があることから、本市と上野原市は共同で上水道事業を立ち上げ、施設整備を実施し、将来にわたる水道事業の安定化に向けて最善の努力をしてきております。しかしながら、施設整備における企業債の償還や減価償却費などが経営を圧迫し、少子高齢化による人口減に伴う使用量の減少により給水収益の減少が想定され、経営が大変厳しい状況は明らかであります。

このことから、料金改定の実施は必須であり、経費削減に努力し、料金水準の決定に向けて取り組まなければなりません。企業団に對しまして、住民の理解が得られるための準備を進めるよう要請しており、近々議会にもその内容について説明を申し上げる段階に至っている状況であります。

市立中央病院新病棟建設工事、大月東中学校校舎新増改築工事の入札方法について

問 市立中央病院新病棟建設工事、大月東中学校校舎新増改築工事の入札はどのような方法でするお考えか。

答 市長

市立中央病院新病棟建設工事、大月東中学校校舎新増改築工事につきましては、請負工事の予定価格がそれぞれ5,000万円以上でありますので、大月市一般競争入札事務処理要領の規定に基づく一般競争入札と

し、工事施工を担保するため、同等の工事実績があること、経営審査点数が一定点数以上であることなどを入札資格要件とする予定であります。また、ダンピング受注を排除し、公共工事の品質を保持するため、大月市財務規則及び大月市低入札価格調査制度に関する要綱の規定により、予定価格が5,000万円以上の場合には低入札調査基準価格を設定することになっております。

したがって、市立中央病院新病棟建設工事、大月東中学校校舎新増改築工事の入札の際には、総務省自治行政局長及び国土交通省建設流通政策審議官から通知がありました「公共工事の入札及び契約手続の更なる改善等について」の低入札調査基準価格算定方法によりそれぞれ低入札調査基準価格を設定する予定であります。

市立中央病院の経営健全化について

問 総事業費27億6千万を予定している新病棟建設において、新田名誉

答 市長
院長から常勤医確保の条件とされた全てのものが整いますと、正に健全経営化と救急診療に對應するうえで、常勤医確保は不可欠であります。常勤医をどのような手段、方法をもって確保するお考えか。

病院経営の健全化に向けては、常勤医の確保が必要不可欠であります。新病棟建設等整備事業が本年9月の工事着手に向け、実施設計の段階に至ったことで、ようやく関連病院提携先であります東京女子医科大学へ本格的に常勤医派遣要請を行えるスタートラインに立てたと考えております。

お尋ねの常勤医確保の手段、方法についてであります。院長、名譽院長と十分協議を重ねる中で、まずは現在の常勤医の負担軽減が必要であると考えております。外科にあつては、進藤院長の院長職就任をカバーし、また外科領域を拡充するため、9月には常勤医1名が増員される見込みであります。内科につきまし

ては、遅くとも下期には常勤医1名が赴任する見通しであり、診療体制の整備により今年度中での卒後教育の臨床研修施設としての認定を目指しております。この施設認定と地域医療再生計画の大学との連携による医師確保事業を活用し、指導医のもとで研修が行われる状況となるのが病院を活性化させ、中期的には医師確保が継続的に担保されたと考えております。

組織機構改革について

問 組織機構改革取り組みの進捗状況は

答 総務部長

部課長や担当リーダーから出されております。来年3月には10名の管理職を含

答 消防長
現在、本市における消防職員あるいは消防団員への

問 防災無線は、周知連絡等有効な手段として活用が図られているが、更に、火災連絡にも利用できないか。

防災無線の活用について

今後は、組織機構図及び事務分掌等の素案を庁内の事務改善委員会で審議し、12月の市議会定例会に提案したいと考えております。

む職員が定年退職を迎えることから、それらに対応した組織の見直しが必要である、少人数の担当や1人担当を見直し、関連する担当の統合により業務に応じた流動体制を図る必要がある、担当や課等あるいは部等を超える事務が多くなっていることから、部制は維持し、より連携しやすい組織にする必要があるなどの意見を踏まえて、総務部内の部課長や担当リーダーで協議を重ねているところであります。

火災発生時の周知でございませけれども、職員にはメールを使い、団員には電話を利用する方法によりまして、必要な職員、団員を選挙して行っております。また、市民の皆様への周知に關しましては、平成15年から消防テレホンサービスを開いたしまして対応しているところでありまして、ご質問の防災無線の活用についてであります。現在、県内では3消防本部で実施をしております。このうち2消防本部につきましては、広域化あるいは合併前からの慣習で、消防指令室から市の防災担当に連絡をし、火災の発生した旧市町村を対象に24時間対応で防災無線を活用した火災情報の放送を行っております。また、残りの1消防本部につきましては、消防指令室の職員が火災発生地区を対象に消防団員の招集と火災情報の周知を目的として防災無線を活用した火災情報の放送を行っております。3消防本部の対応状況を聞きまして、慣習的に行っているが、放送に伴う指令業務の滞りや、あるいは放送実施後の

クレーム対応にはかなりの労力を割いているなどの報告をいただいたところでもございます。

本市におきましても、火災発生時の通信指令室は、119番受信対応、出動車両との無線交信、消防職員への周知メールの作成と送信、消防団員や関係機関への電話連絡、消防テレホンサービスへの録音などの対応に追われている状況にあります。しかしながら、議員ご指摘の火災発生時における消防団員への早期情報伝達の重要性につきましては十分に承知をいたしておりますので、ご質問の火災情報に関する防災無線の活用につきましては、指令担当職員による対応の可否、また実施した場合のメリット・デメリットなどを十分



に調査をさせていただきまして研究をしてまいりたいと、こんなふうに考えております。

人材活用策について

問 プロバスケット選手として、七保出身の小泉陽代（はるよ）さんが、山梨クイーンビーズに所属し活躍しているが、市を広くPRするため、また、スポーツ振興を図る上でのチャンスと捉え、市として何らかのバックアップというか支援をするお考えは。

答 教育次長

今年、山梨クイーンビーズに入団いたしました小泉陽代さんにつきましては、チーム内に数少ない山梨県出身の選手であり、これからの活躍が期待されております。山梨クイーンビーズが所属するバスケットボール女子日本リーグ機構は、今シーズンから1つのリーグに統一されますので、試合数もふえ、スケジュールも大変忙しくなると思われ

ますが、ぜひともレギュラーの座を獲得してほしいと願っております。

今後におきましては、厳しいスケジュールが続くことと思いますが、小泉選手にご協力をいただき、市内



のスポーツ少年団や中学校のクラブ活動でバスケットボールに取り組んでいる子供たちの夢を膨らませる機会をぜひ提供したいと考えております。このような活動が本市のスポーツの振興につながり、小泉選手本人の励みになるものと考えておりますので、実現に向けては、関係者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※文字数の関係上、再質問は、会議録を図書館並びに市のホームページでご覧ください。

代表質問

公明党
西室 衛

中学3年生までの医療費無料化早期実施について

問 入院及び通院無料化に対し、同時期に早期実施すべきではないのか

答 市長

中学3年生までの医療費無料化につきましては、まず入院の無料化を来年4月より、通院の無料化を再来年の4月より実施の予定としたところであります。議員ご指摘の入院、通院を同時期に早期実施することにつきましては、必要となる財源との関係等、困難と判断したものであります。今後、県に対しましては対象年齢の引き上げ、国に對しましては助成制度の創設を市長会等を通じて要望してまいりたいと思っております。

小・中学生の通学に関する安全対策の強化について

問 最近、全国で交通事故が発生している中、安全点検は実施されているのか。

答 教育長

事故の対応としましては、教育委員会といたしましては、本年5月の市内校長会にて各学校長に通学路の安全の再確認をお願いしました。現在順次その報告がなされているところであります。今後はその報告を取りまとめ、道路管理者、大月警察署、学校などで合同の現地確認作業を行う予定となっております。確認作業の後、関係機関による通学路の安全対策を講じていくことになつております。

問 中学校統合化に伴う、自動車での送迎に対する対策は。

答 教育長

今後の対応といたしましては、保護者、生徒には緊急時以外は原則としてバスを利用するよう呼びかけた

り、学校によっては送迎車の停車場所の指定をするなどの対策を考えております。大月東中学校につきましては、校舎建てかえに伴いまして、バスの転回所を校庭入り口に計画しております。バスについても検討してまいりたいと考えております。

消防無線デジタル化に関する大月市の対応について

問 県内一消防本部の議論が進まない中、大月市消防本部のデジタル化は単独で対応するのか。

答 市長

広域化への取り組みは職員の充足率や処遇などの格差の面で暗礁に乗り上げ、議論は継続しているものの、いまだ先が見えない状況にあります。

デジタル無線の整備は平成28年5月と期限が定められておる状況の中で、早い時期に県内における整備の枠組みを明らかにし、各消防本部の整備方針を決定する必要があるのであることから、協議会では優先的に協議を進めてきたところであります。

す。昨年秋季には、整備の枠組みを、県1ブロック共同整備、国中、郡内の県2ブロック共同整備、そして各消防本部単独整備の3枠に絞り、整備費用を比較するため、電波伝搬調査の実施と基本設計の作成を業者委託し、本年3月にその結果が示されたところであります。

答 市長

無線の整備は単独の考えであります。通信指令センターの整備につきましては、近隣消防本部との共同運用が可能であると考えております。

特に将来的に近隣消防本部との広域化を見据えた場合には、共同運用することになり、運用面でも効率的であると考えられますので、近隣消防本部に働きかけを行い、協議を進めてまいりたいと考えております。



消防署指令室

問 将来の小規模広域化も考え、二重投資をさけるためにも近隣市等と

本市におきましては、無線の整備につきましては、最も安価である単独整備で対応する考えであります。

代表質問

日本共産党
藤本 実

問 森林環境税による県の施策の説明を。

答 市長

森林整備にかかる森林環境税を使った事業としては、

民有人工林が対象となっており、事業期間は5年を1期として20年間。整備面積は県全体で2万1200ヘクタールとなっている。事業費について、以前は国・県補助金と所有者負担

金を充てていたが、所有者の負担金を税金で賄うこととなっている。事業の基準については間伐本数率で全体の30%以上、施業面積が5ヘクタール以上で、かつ1ヘクタール当たり、10立方メートルの間伐材を搬出することとなっている。

この施策を実践することにより雇用の拡大と森林環境の整備に寄与するものと大いに期待している。

問 どのように取り組んでいく考えか。

答 市長

本年3月に「大月市森林整備計画」を変更した。作業路の整備等を含めた実効性のある計画に改められている。荒廃した山林が再生し、公益的機能が高度に発揮されとともに、森林資源が無駄なく、有効に利用されるなど、市にとっても大変重要な事業であります

ので、森林組合や森林所有者等の事業実施主体者に対して積極的に支援していきたい。

問 下流域や大学等との連携をすすめる考えはないか。

答 市長

昨年より下流域の人々に森林の重要性を広く知っていただくために、「悲しみの森・癒しの森」トレイル事業を実施し、森を守ってきた地元の方々と交流するイベントを行ってきた。今後多くの方々を大月市に招き入れるような方策を探り、実践してまいりたい。

※その他に「福祉サービス見直しに伴う関係条例」についての質問を致しました。詳細については、会議録を図書館並びに市のホームページでご覧下さい。



初狩町川久保地区の施業集約化のとりくみ

大月市の閉塞感に、「働く場所がなく若い人が出ていく」という問題がある。市域の9割をしめる山林を雇用の場にできたかどうか。そこで逆転の発想だ。県の森林の新施策は大きなチャンスだ。時代の風をしっかりとつかみ、雇用対策と「水源」など市の将来像づくりに積極的にとりくんでほしい。

問

閉塞感の打開に県の森林新施策は大きなチャンス

答

雇用拡大と森林環境の整備に寄与すると期待

個人質問



山田 政文

市立中央病院の医師や看護師の確保について

問 医師や看護師の確保にどのように取り組むのか。

答 市長

医師、看護師の確保につきましては、今後も、病院開設者として、常に先頭に立って、最大限の努力を傾注していく覚悟でございます。

市立中央病院の運営について

問 入院の状況について

答 病院事務長

入院につきましては、医師が患者さんの病態や病状

から重症処置室、個室への入院指示を行うほか、病棟看護師長が看護や療養の必要度等を総合的に判断して病室を決めており、空きベッドの状況によりましては、患者さんやご家族の同意を得て個室へ入院していただいております。

また、個室料金でありませんが、1日当たり1万5、000円が2床、1万円が4床、8、000円が8床となっております。

健康診査事業について

問 健診を受けるための利便性向上について

答 福祉保健部長

今年度から申し込み方法を申込書から電話に変更することで手軽に申し込みができるようにしたところであります。

また、今年度から梁川、鳥沢方面からも直通バスが追加されたところであります。今後とも、バス事業者などと協議するとともに、他市の取り組みを参考にしながら利便性の向上に努めます。

てまいりたいと考えております。

消防団員の確保について

問 団員を確保するために南アルプス市などは優遇措置を設けているが本市も導入したらどうか。

答 消防長

議員が提案している消防団員の優遇措置につきましては、本市におきましても消防団員の確保は喫緊の課題でありますので、まずは消防団と十分な協議、研究を行うことで取り組んでまいりたいと考えております。



小型ポンプ操法大会

地域活性化のため空き家の有効活用を

問 市内の空き家はどのくらいあるのか実態調査をしたらどうか。

問 地域を活性化するため、空き家バンク事業を拡充し、空き家を積極的に活用したらどうか。

答 総務部長

本市の空き家率はおおよそ17・3%ということで、破損等がない空き家につきましては770戸あり、この制度に登録が可能な建物であると考えられます。

今後といたしましては、業務提携団体であります山梨県宅地建物取引業協会や市内の不動産業者などと協力しながら、利用可能な空き家を掘り起こし、少しでも実績を上げるよう努力していきたいと考えております。

再質問

問 市内には空き地も増えています。対策は

どのように考えているのか。

答 市民部長

近隣住民にご迷惑をおかけしている事例については、所有者に関する情報提供があった場合には、所有者に連絡して対応をしていただいております。

市営住宅の入居要件緩和について

問 月収などの入居要件等を見直して高齢者や障害者、新婚世帯の入居促進を。

答 市長

特に居住の安定を図る必要のある高齢者や障害者の方などへの入居促進、また新婚世帯などの定住促進のため、入居要件の見直しを検討してまいりたいと考えております。

※その他の質問

「市内業者の育成に配慮した工事発注について」

個人質問



小林 信保

大月東中学校の設計・設備について

問 設計に当たり注意した点及びどのような方々と計画をたてたのか。

答 教育次長

きめ細かい教育ができるよう、各階に進路指導室、教育相談室、また武道場を兼ねた多目的室の設置など、学校の要望に極力こたえる設計とした。さらに、ランニングコストの削減のため省エネ効果の高い高効率照明の採用や空調施設には運転コストの低い機種の選定などを行った。また、計画は、大月東中学校の校長をはじめ、各教科の先生方と詳細な打ち合わせを行い、設計書を取りまとめた。

再質問

問 都留高校の屋根に太陽

光発電がついています。大月東中学校でも採算がとれるのかどうか検討する必要があると思うが、都留高校の現状など調べてあるか。

答 教育次長

太陽光発電につきまして、学校の設計時に検討し、設置費に比べて効果が少ないと結論を出しております。しかし、小中学校は省エネ教育とか理科教育等、教育的な配慮も当然必要だと思えますので、今後、太陽光発電については機材の単価等の状況も見ながら検討してまいります。

の資料は入手をしておりますので、よろしくお願いいたします。

職員の定員管理について

問 大月市自立計画の行政職250人体制の行政職とはどのような範囲の職員の事を指すのか。また、その行政職の現在の人数は何名か。

答 市長

対象となる行政職員は、行政職給料表の(一)表及び(二)表の職員であり、22年度には目標達成をし、

問

山梨県高等学校審議会が提出した中高一貫教育の必要性・方向性についての答申書に対する所見は。

答 教育次長

今後、県教育委員会の動向を注視しつつ、本市に導入が可能か検討してまいります。

246人になった。
平成24年4月1日現在の

行政職員数は229人となっています。

問

本市の職員の適正数・採用計画は。

答 市長

適正な職員数の固定化は難しいが、本市の行政需要に見合った定員の適正化に向けて組織機構と共に検討している。

問

一般会計にかかる適正な職員数は。

答 市長

職員数は減少傾向にあり、適正な職員数の固定化は難しいが、今後の行政需要を勘案する中で定員の適正化に努めてまいります。

問

今後の採用計画についての考えは。

答 市長

平成25年4月からの組織

機構の見直しと一体的に職員体制につきましても検討している。

今後は、組織機構の見直しに合わせ、高校教員等の処遇、年齢構成や退職者数、さらに職種等を考慮した中で、行政機能を持続できる職員体制とするため、本市に見合った採用計画を策定していきたい。



個人質問



鈴木 章司

田中簡易水道施設
整備工事について

問 ことしの大月市広報3月号に掲載されました入札結果の中に、1月24日執行指名競争入札工事件名、田中簡易水道施設整備工事、予定価格3、200万3、000円、落札額3、200万、落札率99・99%の工事の発注に至るまでの経緯と状況についてお聞かせ下さい。

答 市民部長

平成22年12月30日、猿橋町の田中地区において水道水の異臭が発生したことから、簡易水道による給水を断念いたしました。そこで、東部地域広域水道企業団の送水管から臨時給水を受けることとし、地域住民とともに仮設管を布設して、平成23年1月19日より給水を開始いたしました。

た。その後、田中地区住民の皆さんと水道企業団等で協議を重ねた結果、6月15日に上水道、東部地域広域水道企業団に加入するものとして整備をすることに決定いたしました。この決定に伴い、市として事業計画を作成し、10月18日に国庫補助の申請を行ったところ、11月30日に国より決定の内示がありましたので、本格実施に向けて12月7日に地区説明会を実施し、本年1月24日に年度内早期完成を目指した田中簡易水道施設整備工事を2工区に分割して発注し、5月24日に工事が完成し、給水を開始し、現在に至っております。

事業費内訳について

問 この事業費の市負担金、補助金と住民負担金等内訳についてお聞きます。

答 市民部長

本事業費の総額は5、828万4、000円であり、ます。内訳といたしまして、国庫補助金が1、690万円、起債が3、380万円、地区負担金が758万4、000円となっております。地区負担金は、国庫補助対象外の給水管設置の費用であります。

再質問

問 この市民の負担金は、落札率が下がれば田中の住民が負担する金額も下がるのですか。

答 市民部長

工事の額が変更になりますと、それに伴いまして負担金の額も変更になります。

予定価格について

問 この事業の実施工事費である3、200万3、000円という金額の積算根拠についてお伺いします。

答 市民部長

実施工事費につきましては、市職員が調査設計業務を実施し、水道施設整備費を国庫補助事業に係る歩掛表に基づき積算したものです。

仮設管布設について

問 田中地区の仮設管布設時に支援、協力した業者があつたと聞か、何社あつたのか。

答 市民部長

簡易水道による給水を断

念いたしましたので、田中地区の配水池に東部地域広域水道企業団の送水管から臨時給水を実施いたしました。臨時給水には仮設管を延長800メートル布設しなければなりませんでしたが、大月市給水工事指定業者組合から災害時の協力申し出がございまして、そのご厚意により3社から4名のご支援をいただきました。

入札状況について

問 指名業者は何社で、何回入札の結果落札されたのかお聞きます。

答 総務部長

田中簡易水道施設整備工事に係ります入札につきましては、5社による指名競争入札を執行いたしました。1回目の入札で落札者が決定をしたところで、

落札率について

問 最近の入札結果で最低の落札率と内容を教えてください。

答 総務部長

平成23年度、1年間の請負工事に係ります最高落札率は、田中簡易水道施設整

備工事（第1工区）の99・99%であります。最低落札率は、みどう団地ふる釜取替工事の65・21%となっております。

▼最低落札率が65・21%もあるのです。この田中の工事が掲載されている広報3月号を見ますと、例えばその執行された4日前の12月20日の執行の工事では、73・21%で落札している現場もあります。このような今回の田中の工事も落札されていけば、国庫補助金は減りますが、市民の負担金と市債は数百万単位で下がったかもしれない。田中地区40軒は、高齢者の多い地域です。当時、飲料水に困り、お風呂にも20日間入れなかったと聞いています。きつと水道復旧は大変喜ばれたと思いますが、落札に至るまでの疑問はめぐえません。私も議員は、市民のとうとい税金から500万円以上の報酬をいただいている。今後、こうした疑問が生じることのないよう同志の議員の方々と注意深く目を光らせてチェックしていきます。

※質問や答弁を省略して掲載しておりますので、詳細については、会議録を図書館並びに市のホームページでご覧下さい。

委員会審査のようす

☆総務産業常任委員会



総務産業常任委員会

算(第1号)
一、議案第44号 市道の路線認定の件
一、議案第45号 市道の路線変更認定の件

◇委員長報告の内容(要約)

付託案件について担当課長等の説明を受け、慎重審査の結果、「報告第1号」専決処分事項について承認を求める件」中、専決第3号、専決第4号については、全会一致で、原案のとおり承認することに、また、「議案第40号 大月駅前広場道路附属施設の設置及び管理に

◆6月15日(金)
【審議された案件】
一、専決第3号 平成23年度 大月市一般会計補正予算(第6号)
一、専決第4号 平成23年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
一、議案第40号 大月駅前広場道路附属施設の設置及び管理に関する条例制定の件
一、議案第42号 大月市下水道条例中改正の件
一、議案第43号 平成24年度 大月市一般会計補正予算(第1号)



現地視察

☆社会文教常任委員会



社会文教常任委員会

関する条例制定の件」議案第42号 大月市下水道条例中改正の件」議案第43号 平成24年度大月市一般会計補正予算(第1号)中、本委員会所管「議案第44号 市道の路線認定の件」議案第45号 市道の路線変更認定の件」については、いずれも全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

一、専決第2号 大月市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
一、議案第38号 外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の施行に伴う関係条例の施行に関する条例制定の件
一、議案第39号 福祉サービス見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定の件
一、議案第41号 大月市印鑑条例中改正の件
一、議案第43号 平成24年度 大月市一般会計補正予算(第1号)

◇委員長報告の内容(要約)

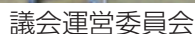
審査状況につきましては、担当課長等の説明を受け、慎重審査の結果「報告第1号 専決処分事項について承認を求める件」中、「専決第1号」及び「専決第2号」については、全会一致で承認することに、また「議案第38号 外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の施行に伴う関係条例の施行に関する条例制定の件」議案第41号 大月市印鑑条例中改正の件」議案第43号 平成24年度大月市一般会計補正予算(第1号)中、本委員会所管については、全会一致

で「議案第39号 福祉サービス見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定の件」については、賛成多数でいずれも原案のとおり可決すべきと決しました。

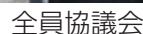
なお「議案第39号」については、審議の過程の中で、一つ目として、子育て支援医療費助成事業の中学3年生までの医療費無料化について、通院に関しては、平成26年4月から予定をしているが、他の財源の見直し等で予算ができた場合、前倒し、入院と同様、実施できるよう検討してほしい。二つ目として、福祉予算の減額部分が他の予算に使われることのないよう公平な予算の配分を求める。

三つ目として、長寿敬老祝い金予算を減額するにあたり、市長からのメッセージ等、予算があまり係らない方法にてお祝いをしたかどうか。10項目5条例は重要な条例も多く、一括して審議することは、項目が多岐にわたることから採決するうえで困難を極めた。等、意見がありましたので申し添えます。

6・4〇全員協議会



6	6	6	6	6	6
19	18	15	14	7	4
○議会運営委員会	○社会文 教常任委員	○社会	○一般質問	○ボール大会	○平成24年第2回市 議定会 例会開会
		総務産業常任委員	全員協議会		
				大月市老人ゲート	



7 31	7 29	7 27	7 24	7 23	7 13	7 10	7 4	6 28	6 26	6 25	6 24	6 20	6 19
平成24年7月大月会	第58周年記念大月市制祭祝賀柔道大会	平成24年第3回市議会臨時会	第4回実行委員会 議会運営委員会 全員協議会	臨時全員協議会 梨県東部広域連合7月定例会	平成24年7月大月都留広域事務組合 臨時全員協議会	富士吉田市議会正副議長就任挨拶来庁	岩手県奥州市議会行政視察来庁	市議会だより編集委員会	第3回実行委員会 大月市議会歴代議長会	都留市議会正副議長就任挨拶来庁	第2回総会 北富士駐屯地創立52周年記念式典 第6回阿波ダンスフェスティバル	第28回国民文化祭大月市実行委員会	平成24年第2回市議会定例会閉会
8 31	8 28	8 22	8 21	8 12	8 10	8 9	8 8	8 8	8 6	8 4	8 1	8 1	8 1
第53代議長掲額式	議会運営委員会	平成24年度国道139号松姫トンネル建設促進連絡協議会総会	第1回議員政治倫理条例制定に係わる調査特別委員会 平成24年度大月地域道路整備推進連絡協議会総会	念剣道大会 大月市制58周年記念大会 同研修会	山梨県市議会議長会（前期）議員合	平成24年第2回東地域広域水道企業団議会定例会	市議会だより編集委員会	年記念式典 大月市制施行58周年記念式典	平成24年度リニア中央新幹線富士北麓・東部建設促進協議会総会	かがり火市民祭り 第29回大月阿波踊り大会	協議会正副会長・監事・相談役会議式典 大月駅周辺整備竣工式典	協議会監事会議 広域行政圏市議会	都留広域事務組合議会定例会

残暑お見舞い
申し上げます



議長	後藤 慶家
副議長	卯月 政人
議員	相馬 保政
(監査委員)	
議員	天野 祐治

(監査委員)

議員 天野 祐治

大石源廣

奧協一夫

是月

古見金弼

”
小泉三雄

西室衛

小原 丈司

月 日 年

山田善一

”
山田
政文

”
鈴木 章司

”小林言呆

藥之

入
康
本
実

議員はあいさつ状を出

すことか、公職選挙法で禁止されています。

(自筆による答札は除く。)

【第128号 平成24年11月30日発行予定】

〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
Eメール gikai-19206@city.otsuki.lg.jp